

宮城県感染症発生動向調査情報(第7週)

宮城県【平成25年02月21日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.2.11 ~ 2.17 ・ 第7週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第4週	第5週	第6週	第7週	
水痘	7 1.40	17 1.70	11 2.20	5 2.50	3 1.00	5 1.00		32 1.23	80 1.38	569	◎→	◎→	◎→	◎	
流行性耳下腺炎	2 0.40	2 0.20	2 0.40			12 2.40	1 0.50	1 0.04	20 0.34	195	レ→	○→	レ→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	31 6.20	21 2.10	33 6.60	6 3.00	28 9.33	74 14.80	28 14.00	118 4.54	339 5.84	2,379	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病	3 0.60		2 0.40		1 0.33	1 0.20		1 0.04	8 0.14	94	→	→	→		
伝染性紅斑	6 1.20		3 0.60				2 1.00		11 0.19	56	→	→	→		
突発性発しん		4 0.40	6 1.20		2 0.67		1 0.50	11 0.42	24 0.41	213	○→	○→	○→	レ	
ヘルパンギーナ											→	→	→		
インフルエンザ	150 18.75	184 12.27	89 11.13	41 13.67	64 12.80	105 13.13	50 12.50	463 11.02	1146 12.32	11,285	◎→	◎→	◎→	◎	
咽頭結膜熱	3 0.60	1 0.10		1 0.50				9 0.35	14 0.24	87	→	→	→		
流行性角結膜炎											→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	32 3.20	4 0.80	2 1.00	1 0.33	16 3.20		25 0.96	92 1.59	525	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎	3 3.00	1 1.00	1 1.00		1 1.00		12 12.00	7 1.40	25 2.08	166	○→	○→	レ→	○	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1 1.00						1 0.08	7	→	→	→		
RSウイルス感染症	4 0.80	2 0.20	1 0.20					8 0.31	15 0.26	123	○→	レ→	→		
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	2			3	2	2	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 ：発生が少なくなっている傾向 【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.lhe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.lhe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>						
	川崎病	1													
	不明発疹症														

今週の全数報告疾病

\*男児、女児は6歳未満

1類感染症:報告なし

2類感染症:結核

大崎管内 男性1名、女性1名  
石巻管内 女性1名  
仙台管内 男性2名、女性1名、女児\*1名

3類感染症:報告なし

4類感染症:A型肝炎

仙南管内 女性1名(第6週)

5類感染症:劇症型溶血性レンサ球菌感染症

石巻管内 女性1名

後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告  
20例(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

—宮城県感染症対策委員会情報解析部—

【インフルエンザ】

仙南、大崎、石巻管内で警報継続中。

塩釜、栗原、登米、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。

患者数は栗原管内を除くすべての管内で減少したが、全国的にはまだ本格的な流行が続いている。入院患者報告では高齢者の報告数が多いことから、今後とも十分注意が必要である。

インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ問一答」

などを参考に  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/leaflet20110208\\_01.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf)

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報継続中。

患者数は減少したが、引き続き患者検体よりサポウイルス、ノロウイルスが検出された。また施設におけるノロウイルスが原因の集団発生も報告されているので今しばらく注意が必要である。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第4週採取分 サポウイルス遺伝子 2件  
第4週採取分 ノロウイルス(GII)遺伝子 105  
第5週採取分 ノロウイルス(GII)遺伝子 1件  
第5週採取分 ノロウイルス(GII)遺伝子 1件  
第6週採取分 サポウイルス遺伝子 1件  
登米管内 第5週採取分 サポウイルス遺伝子 1件  
第6週採取分 ノロウイルス(GII)遺伝子 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第5週採取分 (1.28～2.3)	第6週採取分 (2.4～2.10)	第7週採取分 (2.11～2.17)
インフルエンザウイルスA(H3)	2件	0件	0件
インフルエンザウイルス解析中	6件	9件	2件
RSウイルス	5件	6件	2件
アデノウイルス	3件	1件	0件

インフルエンザ関連情報(患者報告年齢群別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2012年 第50週	17.2	25.9	19.0	8.6	5.2	6.9	8.6	3.4	3.4	0.0	1.7	58
第51週	23.3	26.2	10.7	7.8	8.7	7.8	8.7	1.0	2.9	1.9	1.0	105
第52週	25.0	23.5	9.1	9.1	9.1	12.9	4.5	3.0	3.0	0.0	0.8	132
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749
第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850
第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603
第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036
第7週	21.9	26.4	15.3	4.2	5.2	7.2	7.2	5.0	3.2	2.2	2.3	1,146

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第5週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(51.61)、愛知県(48.27)、愛媛県(45.26)、長崎県(43.33)、鹿児島県(43.28)、千葉県(42.53)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,650例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は減少した。宮崎県(1.28)、熊本県(0.90)、山形県(0.83)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は減少した。石川県(6.03)、鳥取県(5.42)、富山県(5.03)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は減少した。熊本県(16.52)、宮崎県(13.61)が多い。水痘: 報告数は減少した。宮崎県(3.25)、沖縄県(3.00)、福岡県(2.13)が多い。手足口病: 報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。熊本県(1.14)、福岡県(1.02)、大分県(1.00)が多い。伝染性紅斑: 報告数は減少した。岩手県(0.38)、富山県(0.24)、宮城県(0.19)が多い。百日咳: 報告数は横ばいであった。静岡県(0.08)、福井県(0.05)、佐賀県(0.05)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は3週連続で減少した。長崎県(0.14)、新潟県(0.13)、富山県(0.07)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は増加した。福井県(1.00)、岩手県(0.85)、秋田県(0.74)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。宮城県(2.75)、福島県(2.71)、青森県(2.33)が多い。

インフルエンザ定点  
インフルエンザ定  
点は、内科定点と  
小児科定点を合わ  
せたもので、県全  
体で93定点です。  
宮城県: 51定点  
仙台市: 42定点  
合 計: 93定点